

— 夫婦のパートナーシップを切り口に未来社会を考える —



柴川敏之 ぼくのおくさん☆プロジェクト

夫婦の事件簿（エピソード）

6月9日 特設 Web サイトより募集開始！

特設 Web サイト：<https://www.bokunookusan.com>

【プロジェクトの概要】

2008年に始まった、住民とアーティストが表現活動を通じて地域資源の再評価と芸術文化活動を担う人材の育成を目指す「住民参画型アートプロジェクト」の一環として実施する本プロジェクトでは、現代美術家の柴川敏之と同氏の妻でESD研究者の柴川弘子（岡山大学大学院教育学研究科ESD協働推進室コーディネーター）を招聘します。「未来のHOME—暮らし・コミュニティ・地球—」をテーマに掲げ、個人の問題である夫婦のパートナーシップを切り口に社会的課題に迫り、アートを通じて地域とともに持続可能な社会について考えます。2年の準備期間を経て4月に始まったプロジェクトの成果は9月に開幕する柴川敏之の個展で展示します。

ESD(Education for Sustainable Development/ 持続可能な開発のための教育)とは、環境、福祉、平和、人権、ジェンダーなどさまざまな現代社会の持続可能性に関わる課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す世界的に注目されている学習や活動で、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）も推進しています。

【プロジェクトの特徴】

柴川敏之は経験豊富な日本を代表する現代美術家ですが、初めて妻の柴川弘子が企画にゲストキュレーターとして参加します。柴川夫妻は夫婦の問題を赤裸々に語りながら特設 Web サイトなどを通じて世界の夫婦の問題を「夫婦の事件簿（エピソード）」として収集し作品化するとともに、これまでの柴川敏之の個展では見られなかったさまざまなアイデアによって展示を構成します。また、プロジェクトにESDの手法を取り入れることで、アートや教育など領域を超えた人材が広く集う機会を生みだし、地域活性化の新たな視点と過疎地域におけるアートプロジェクトの可能性を探ります。プロジェクトの企画運営は6名の住民を中心とした実行委員会とつなぎ美術館が共同で行います。実行委員会には特別養護老人ホームの専門職員として先駆的な取り組みを実践している委員もあり、本プロジェクトに社会の喫緊の課題である福祉と介護の視点をもたらします。

【プロフィール】

招聘アーティスト

柴川敏之（しばかわ・としゆき） 現代美術家／就実短期大学教授

日常の見慣れた物を化石にすることで2000年後から現在を俯瞰し、社会に潜在する数々の問題を露わにする日本を代表する現代美術作家のひとり。家事も育児（3歳息子）も一生懸命やっているつもりだが、妻からは全く評価されない。「もっと（僕を）ほめてよ！」と思っている52歳。<https://www.toshiyuki-shibakawa.com>

ゲストキュレーター

柴川弘子（しばかわ・ひろこ） ESD研究者／岡山大学大学院教育学研究科ESD協働推進室コーディネーター

岡山を拠点にESDの研究者として全国を奔走。研究に邁進するも、育児・家事・介護が重なり安らぎという言葉の意味さえ思い出せない。「夫の世話までやってられっか（怒）！」と噴火は絶えず、カルデラ大噴火のXデーは迫っている。

企画担当学芸員

楠本智郎（くすもと・ともお） つなぎ美術館 学芸員

社会教育事業としてのアートプロジェクトを考案し、アーティストと住民が年間を通じて地域資源を活用しながら表現活動に取り組む「住民参画型アートプロジェクト」を2008年から実施している。近年は複数のプロジェクトを運営し、地域密着型アートプロジェクトの功罪を問いながら、過疎地域におけるアートの可能性を探っている。

【プロジェクト名】ぼくのおくさん☆プロジェクト
【プロジェクト実施期間】2018年4月2日(月)～2019年3月15日(金)
【展覧会名】ぼくのおくさん☆柴川敏之展 PLANET HOME
【展覧会期】2018年9月8日(土)～11月25日(日)
【展覧会場】つなぎ美術館 1・3階展示室ほか
【観覧料】一般300円 高大生200円 小中生100円
【関連プログラム】9月8日(土)アーティストトーク
9月9日(日)トークセッション
10月14日(日)ESDカフェ in つなぎ
【特設Webサイト】<https://www.bokunookusan.com>
【主催】津奈木町、つなぎ美術館、ぼくのおくさん☆プロジェクト実行委員会
【助成】(公財)水保・芦北地域振興財団
【企画協力】柴川弘子(ESD研究者)
【漫画制作】ブブ(booboo.piyo)
【企画】楠本智郎(つなぎ美術館学芸員)

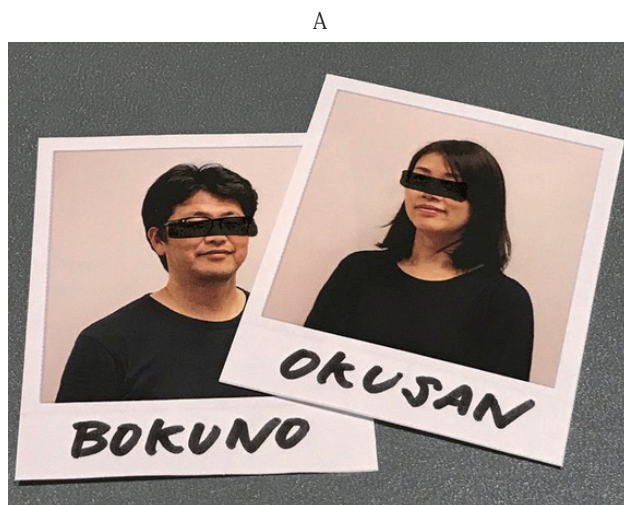
【実行委員会企画会議】7月14日(土)18:00 第3回実行委員会企画会議
8月上旬 第4回実行委員会企画会議

【問い合わせ先】つなぎ美術館 熊本県葦北郡津奈木町岩城494 TEL:0966-61-2222
<http://www.town.tsunagi.lg.jp/Museum/>
企画担当学芸員 楠本智郎 kusumototomoo@gmail.com
広報担当職員 下川光代 shimokawam@town.tsunagi.lg.jp

【広報用画像】下記の画像を広報用に提供します。

必要な方は1から3までの使用条件をご承諾のうえ、上記の問い合わせ先までご連絡ください。

1. Bのキャプションは必ず掲載してください。
2. 写真に文字が重ならないようにしてください。
3. 後日、当館へ掲載媒体をお送りください。



プロジェクトイメージ



《Who CAREs? (仮)》部分・制作途中 柴川敏之